

科目名 Course Name	患者論 Patient Theory				ナンバリング No.	D3-008	
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	遠山 今日子						
連絡方法	C-Learning で対応						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と 到達目標	【概要】 医療事務職は患者・家族にとって身近な存在となりうる職種である。また、チーム医療の一員として、患者や家族と積極的にかかわり、信頼関係を築くことで、存在意義をさらに高める努力が求められている。そのために必要な患者の心理、社会的側面、社会福祉の実践方法などの知識を習得する。 【目標】 ①.患者の心理や社会的側面を理解し、信頼関係を築くためのコミュニケーション力を身につけることができるようにする。 ②高齢者の特徴、看護、援助などを学ぶことで、老年期の患者について説明できるようにする。 ③障害者の生活課題と福祉・リハビリテーションなどを学ぶことで、社会福祉に関する理解を深めることができるようにする。						
授業の方法	テキスト及びグループワークを中心に進め、ディスカッションやプレゼンテーションを導入し、医療専門職として「患者・家族」に対する関心を高め、患者の心理、社会的側面についての理解、社会福祉実践の方法を学んでいく。						
学習成果	L01	患者・家族の心理を理解し、信頼関係を築くことができる。					
	L02	高齢者、障害者について理解し、社会福祉について説明できる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	小テスト後は、答え合わせと、解説を行う。						
教科書／ 参考図書	テキスト「患者・看護論」 およびプリント						
履修上の留意点 やルール等	毎回の授業範囲のテキストを読んでくること。 事前事後学習に費やす時間は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種:医療法人理事、受付事務補佐 職歴:通算 10 年) 医療事務の経験を、患者の心理、社会的側面、社会福祉実践の方法などについて説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準						
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				
		L01	L02	L03	L04	
授業参加態度	患者論の基礎知識を理解している。授業に集中して取り組んでいる。	10	10			
レポート／作品	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。	10	10			
発表						
小テスト	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する。	10	10			
試験		20	20			
その他						
合 計		50	50			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明・評価方法に関する説明
	事前・事後学習	(事前)教科書「はじめに」を読んてくる。 (事後)教科書「患者のニーズと医療専門職」を読む。
2	授業内容	患者のニーズと医療専門職
	事前・事後学習	(事前)教科書「患者のニーズと医療専門職」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
3	授業内容	援助過程と障害の受容
	事前・事後学習	(事前)教科書「援助過程と障害の受容」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
4	授業内容	社会福祉と権利擁護
	事前・事後学習	(事前)教科書「社会福祉と権利擁護」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
5	授業内容	社会福祉と幸福追求権
	事前・事後学習	(事前)教科書「社会福祉と権利擁護」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
6	授業内容	障害と生活環境
	事前・事後学習	(事前)教科書「障害と生活環境」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
7	授業内容	患者・家族支援とソーシャルワーク
	事前・事後学習	(事前)教科書「患者・家族支援とソーシャルワーク」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
8	授業内容	ノーマライゼーション
	事前・事後学習	(事前)教科書「ノーマライゼーション」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
9	授業内容	患者支援と社会福祉専門職
	事前・事後学習	(事前)教科書「患者支援と社会福祉専門職」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
10	授業内容	看護の対象、看護における倫理
	事前・事後学習	(事前)教科書「看護の対象、看護における倫理」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
11	授業内容	看護の援助技術 ― コミュニケーション技術
	事前・事後学習	(事前)教科書「看護の援助技術 ― コミュニケーション技術」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
12	授業内容	老年期の患者の看護
	事前・事後学習	(事前)教科書「老年期の患者の看護」を読んてくる。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。
13	授業内容	授業の総仕上げ-プレゼンテーションとフィードバック
	事前・事後学習	(事前)授業で学んだ内容を復習する、プレゼンテーションの準備をする。 (事後)プレゼンテーション振り返り、授業で学んだ内容を復習する。
14	授業内容	授業の総仕上げ-プレゼンテーションとフィードバック
	事前・事後学習	(事前)授業で学んだ内容を復習する、プレゼンテーションの準備をする。 (事後)プレゼンテーション振り返り、授業で学んだ内容を復習する。
15	授業内容	授業の総復習
	事前・事後学習	(事前)学習した内容についてわからない点を質問できるように準備する。 (事後)授業で学んだ内容を復習する。